

檜

階

小庭

八條殿

五月乃申れうの日五節
 のゆいのらう火との寸程あり
 殿と人とのけしむ花人頼
 みのぬれを花人けりひて五
 節とい海りらや朝平の
 みを流りらせむ書水もまたぬ
 にいり舞をたねほせれん花人
 みるれを海りけりひてうら
 初まつる流りらうらうらうら
 終はあまのゆれをたねほせ
 て小庭よたのさうらと花人
 二人よあうらうらうらと花人
 めく流りらと人みるあうらひ
 ぬめくふあり

此草履殿
五個さうら

浅黄雲流り



仙居 橋

土子
馬
廊

仙居門
几可也

小庭

明券門

無名門

出仁門

侍從基宗

少將通實朝臣

石橋
几可也



大正



右青塚門

無名門

神仙門

頭中將實宗朝臣

頭辨長方朝臣

藏人乾光

一龍判官付基

中將通親朝臣

少將有房朝臣

中將賴安朝臣

中將定能朝臣

少將春通朝臣

石橋

1/10



高連戸

高連戸



大正
之形
意

續見



主殿司宿
松上

侍從伊輔 十七

源中納言大夫兼忠 十三

侍從公衡

土左守資頼 十五

兵衛佐經正
右衛門佐實教

侍從成家

藏人右少辨兼光
藏人右少辨兼房

藏人右衛門權佐元雅

近江守季能朝臣

藏人右衛門親宗

少將雅盛朝臣

能登守道成朝臣

中務權大輔經家朝臣

左衛門大夫信朝朝臣

内藏頭親信朝臣

少將藤原朝臣

少將隆房朝臣

中将定能朝臣

少將通朝朝臣

中将通親朝臣

少將有房朝臣

中将親安朝臣

左馬頭重衡朝臣

少將雅賢朝臣

源中納言資時十六

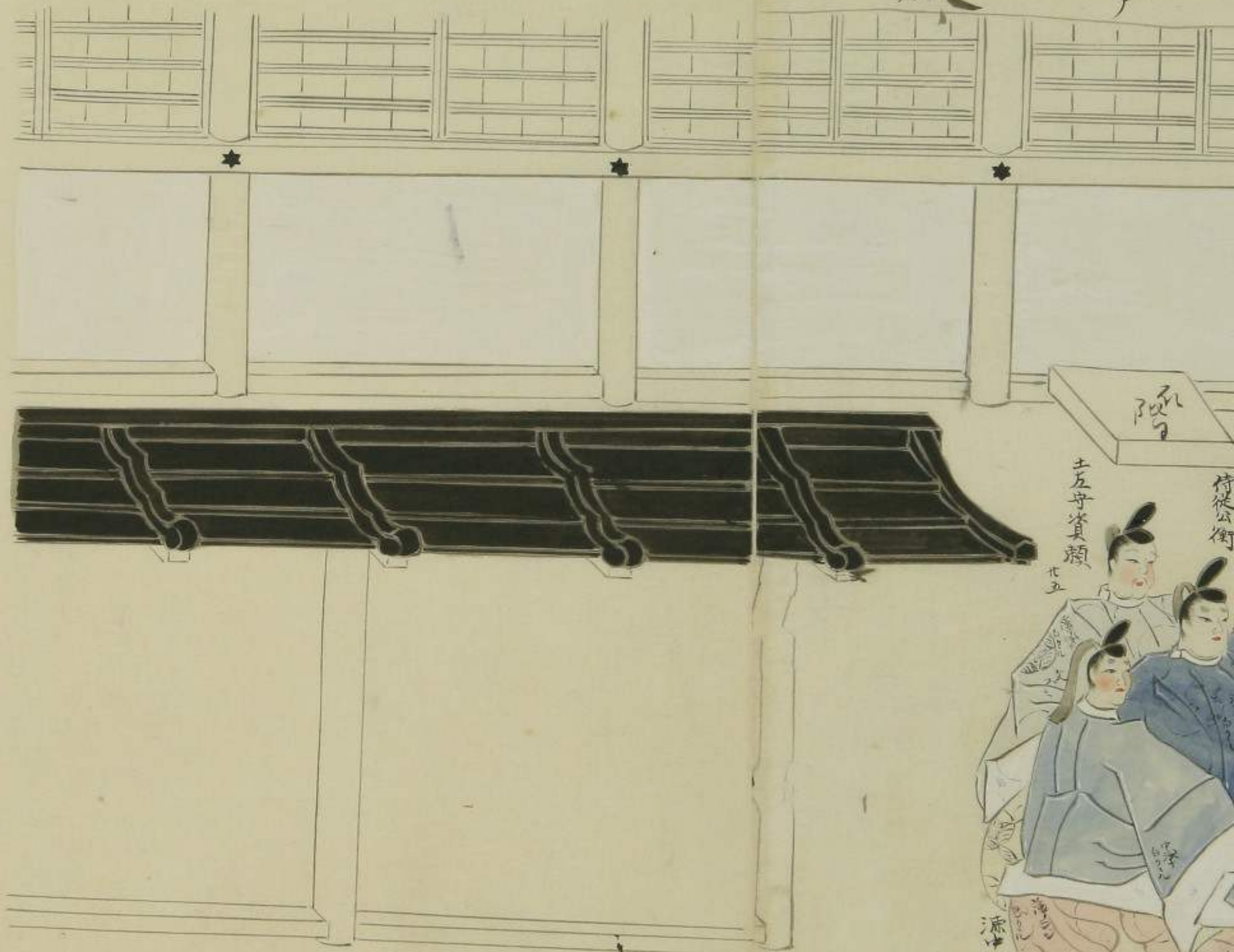
民部權將宗雅

初白之



高蓮戸

西
渡殿



左守資頼

侍従公衡



源中納言資時

五部



青蓮院殿

二



北の陣とらよめとらのとら後とら殿とら

西とらのとら公とら殿とら

北とらのとら公とら殿とら

北とらのとら公とら殿とら

北とらのとら公とら殿とら

北とらのとら公とら殿とら

北とらのとら公とら殿とら

北とらのとら公とら殿とら

北とらのとら公とら殿とら

北とらのとら公とら殿とら

北とらのとら公とら殿とら



直衣

皇本

北陣

羽平門

皇本

雅賢朝臣



經家朝臣

赤手能朝臣

徳目

五部所帯一帯... 皇本

皇本

皇本

神指按此舞卷

黒本

直衣
何レ七四日ク

雅賢朝臣

實明 廿

親宗 廿

経房

木之頭親雅

侍従公時 十五

維盛 十三



神指按此舞臺
 神指相上二細長ヲ
 鋪用花吹又長袴
 鋪用ラ二大ロト表
 袴ヲ着用セリ異例
 事也
 童ケ衣袴ニ他ニ汗衫
 ト多物リ有習俗經下盤見
 文獻ニ相袴ト見ユ翁
 ニ相着ト云フアリ
 今此高細長ニ下衣
 續日ニ此長相カ汗
 袴可考

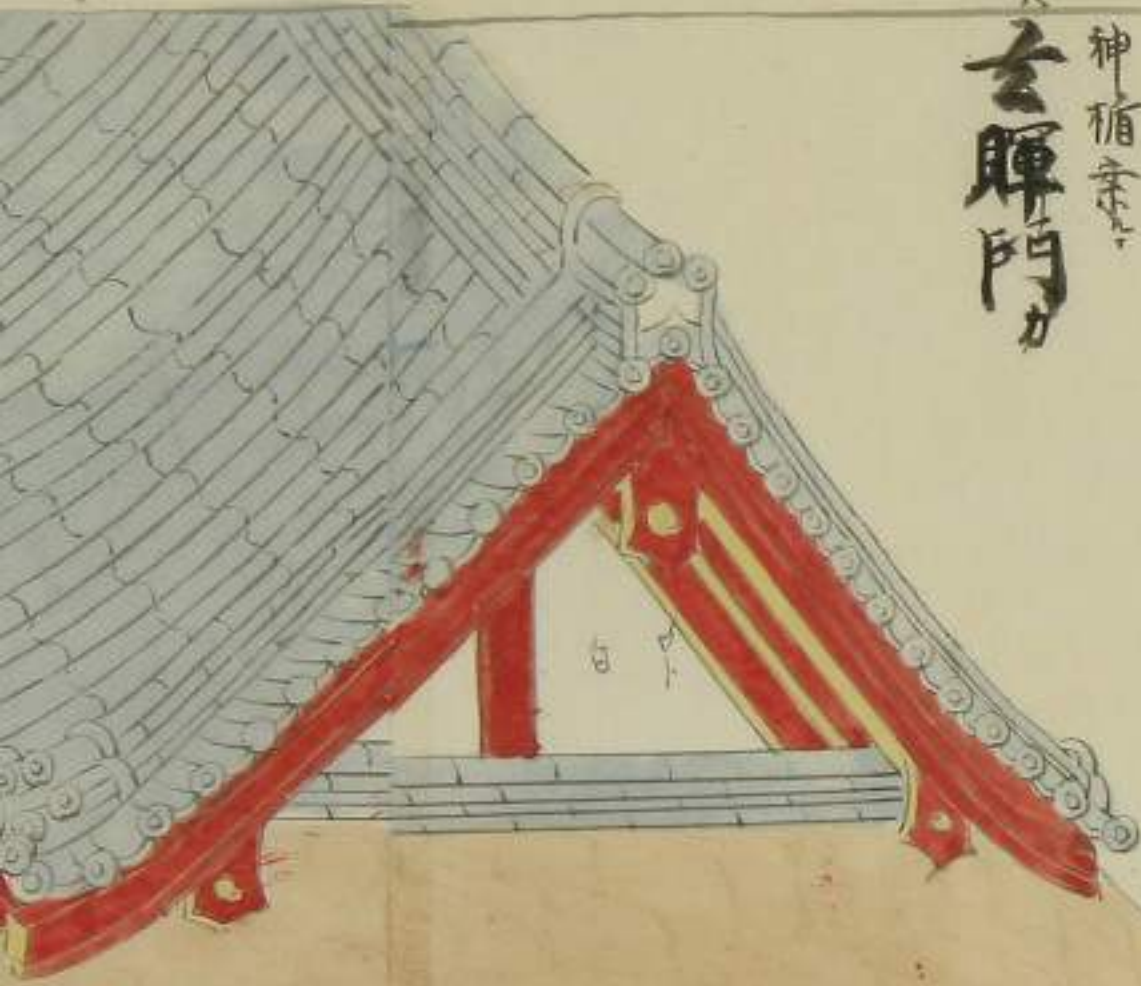
黒本

黒本

黒本



神宿舎大内良忌
 北三番
 神宿舎
 玄暉門



公衛
 十四



維盛
 十三



依吉

汚白衣

自
 別本所より
 以テ字違殿迄
 欠高才 趣多
 糸ト以テ補字
 元完丁也



神宿舎
神宿舎
北三門
文也



長方朝臣

安良宗朝臣

緑青



長方朝臣



Red seal impression.

小節と色まのりをえぬ事は

懐巻よ初幸な御殿上人

をあり〜胎燭試さるる紀

ふし家法ともお開白をり

めくちうさよふまの御家

香殿をよけりて后所乃廊

よる常寧殿のなりをを

ぬ

Red seal impression.

兼香殿

前方樹以志度朝臣



Red seal impression.

水老親信





竹緑
葉如雲
白雲素文

竹相十有
五

御教白文良
御書紅文良

主上所書
三十五日
土佐派
法之



縁者

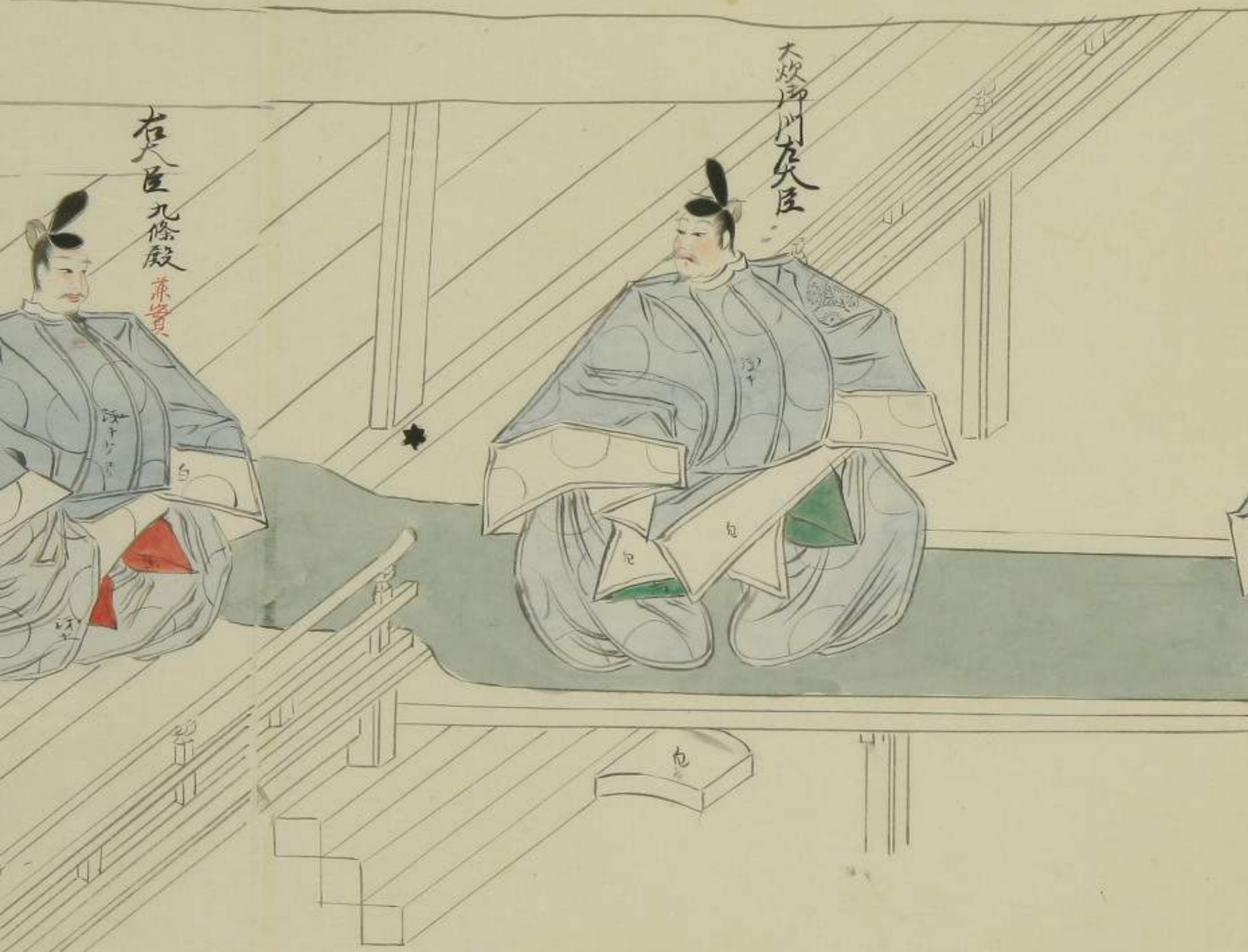


水老
親信



前左衛門
佐忠度
胡屋





右大臣 九條殿 藤實

大炊御門大臣



松殿 基房

假榻



竹 綠葉 白葉 青葉

竹筒青葉

竹筒青葉
紅葉

主上御次女 三十一日 土佐 依瀨 法又

果実

果実

果実

常事

右大臣 九條殿 兼實



久我内大臣



左侍 竹長



能馬井雅章仰

世のつら恨書る事
ひめらも尚りのぬるわたり
殿上人后所の廊ゆく
みれ舞ありひんき
羅んあふなまし
角一ちうあはら
そてぬらこらよとつこ
なあり幸乃みら
さきふに

能馬井雅章

能馬井雅章

神指
別下玄暉門ヨリ
考条近て欠失あり
故に其の品に修し
補入致し可也

能馬井雅章

能馬井雅章

常寧殿

后町廊



常寧殿
通親
神積

公衛
基宗
隆成
雅賢
有房
顯佐

神積
是后町井也

神積
是后町井也
有之月
事
現今



測



小部
思

松子
石原
境

鳴
板



新蔵人成安
上戸
は所
存
歌

惟頼

龍光

小部
歌

小
庭

さう乃日ば殿上比
醉なりを歌よ
あこ免むまははあり
上人まいつりはとひく
別

別

別巻
その所に松の木をあり
今共の巻松の木を
可禰也



公衛

基宗

神所
是は
后
町
井
也



玉身保す
 之形
 義
 500
 500

曼珠院殿
 西南
 海殿



測 醉
 ぬさるわこのまゝを
 くはてをさそはる
 か
 御湯をたもて海殿
 松敷殿のわらわは

別巻世所に章ノ汗
 にて研と指し今
 共の巻にふし 補入



梅スレニ
 六部

シ又キ



弘徽殿

果実



受珠院殿

西南
海殿

主殿宿

果実

測 醉 ちるめわねんか
 ねんしわこのあまを
 とはれをまきとほろけん
 か けりあまのれいれあま
 御湯をまきとほろけん
 弘徽殿のちるめわねんか
 弘徽殿のちるめわねんか
 常寧殿のちるめわねんか
 乃壇のちるめわねんか
 あり

果実

別巻此所に草ノ汗
 にて研と描けり今
 其の巻に於し 補入也

果実



弘徽殿



女月

持たの何と全と金具
三月くく、白の太刀衣



斗王夏

中門

西

檀

登華殿

里衣接は此三人童女衣後ハ汗衫
ナリ汗初ハト下着ナリ夏麻糸ハ汗衫
朝本ニラテ表着ナリ具ハ式 故帳似テ
巾ナリトテ老翁袖ハ助ナリハ寸ハ尺ハ寸
但シ縫ナリ射ナリ射手 献セリハ寸ハ寸
扇百古寫經ニ汗衫ナリ



清目

次月

里衣今大内裏圖以下
梅ノ

黒本

黒本

黒本

中門

西面

登華殿

檀

良泥

黒炭^{カザミ} 按^{カザミ}ズルニ此ノ三人ノ童女ノ衣^{カザミ} 扱ハ^{カザミ}汗^{カザミ} 初^{カザミ}ナラシカ 汗^{カザミ} 初^{カザミ}ハモト下^{カザミ} 着^{カザミ}ナリシガ藤^{カザミ} 尔^{カザミ}代^{カザミ}ヨリ平安^{カザミ} 朝^{カザミ} 末^{カザミ}ニカケテ表^{カザミ} 着^{カザミ}ナレリ具^{カザミ}ノ形^{カザミ}式^{カザミ}ノ致^{カザミ} 掖^{カザミ}ニ似^{カザミ}テ 巾^{カザミ} 左^{カザミ}チトテ衣^{カザミ}ノ鏡^{カザミ} 袖^{カザミ}ノ袂^{カザミ}ノ助^{カザミ}ヲ五六寸^{カザミ}ハカリ綻^{カザミ}ハシ 紐^{カザミ}ニ縫^{カザミ}シテ射^{カザミ}ヲ射^{カザミ}手^{カザミ}ノ献^{カザミ}セシヨリ始^{カザミ}ルト云^{カザミ}フ 扇^{カザミ}面^{カザミ}古^{カザミ}寫^{カザミ}經^{カザミ}モ汗^{カザミ} 初^{カザミ}ナレシキ





黒家

七
かゝぬきさくおれんは。前乃。は。後見。なり。
と。ら。れ。別。解。推。示。を。ま。じ。り。り。く。
東。第。一。の。う。ま。り。く。帯。ひ。め。り。り。
を。乃。む。さ。り。い。御。前。乃。は。装。束。を。執。
て。勵。人。致。清。涼。殿。乃。は。あ。ら。め。り。り。
さ。り。新。の。り。り。

黒家

六 七 五 曼 珠 院 殿



神。指。云。別。本。是。三。り。以。下。
卷。末。近。欠。品。謝。去。り。
後。日。本。本。以。て。補。寫。
完。結。三。改。筆。

黒家

和

和



張東文 此方有見

卯日かゝるまけにさあ後いさか所りの
 みちをにめぐりそめられたわんは焼たあり
 清原殿は海をひさしお淵白く下大はあ三意
 なるの地わら銭の流よきく乃殿之形者
 南のいふ井れすみのなまわりまらけとく
 切り橋より道ありぬらるあり下仕承者
 殿はあんのすろと橋よりわらわい子
 是人お後よりはぬと人乃はし事ま
 阿つと

和

和



和

妙法院殿

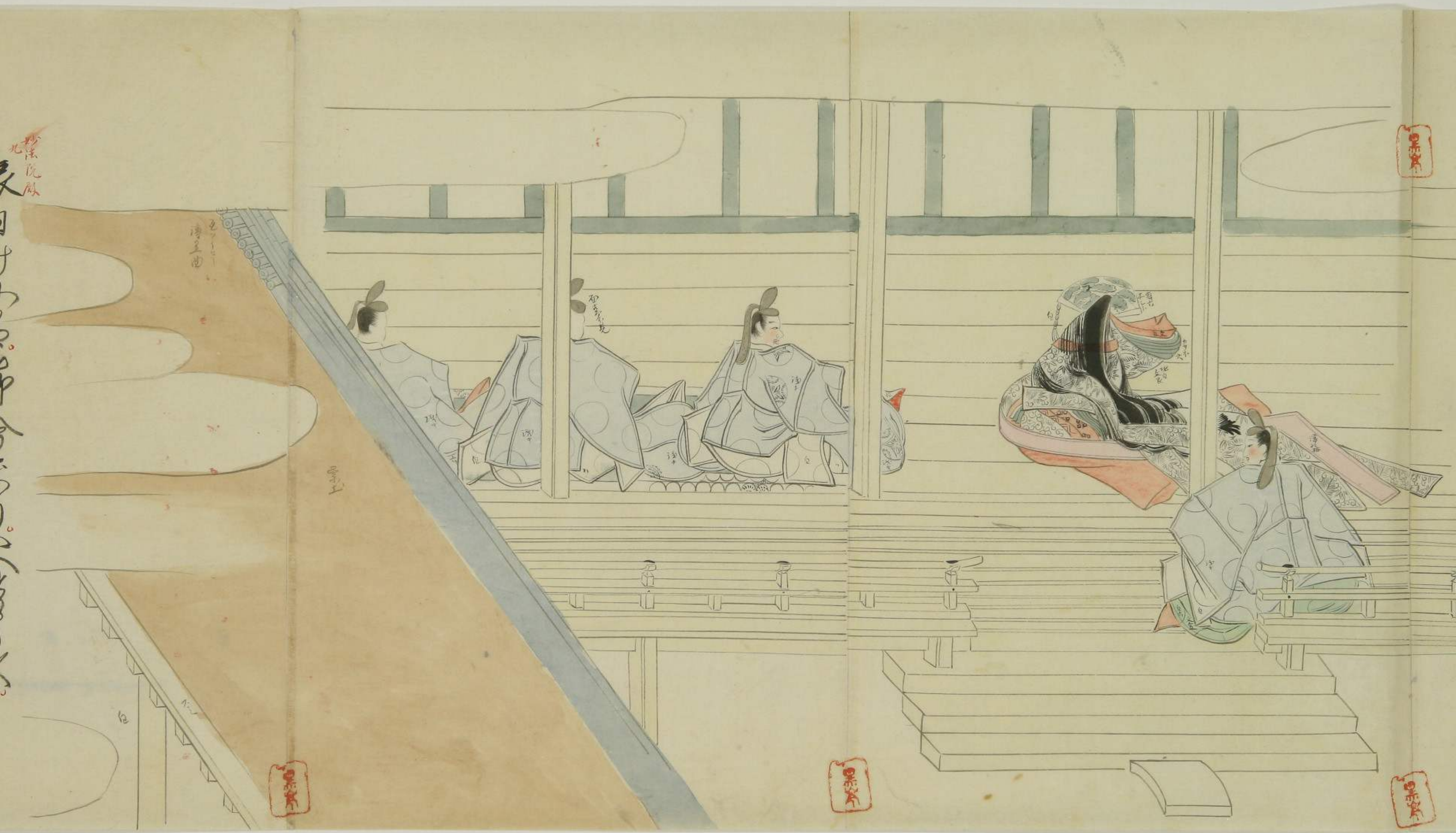
目録

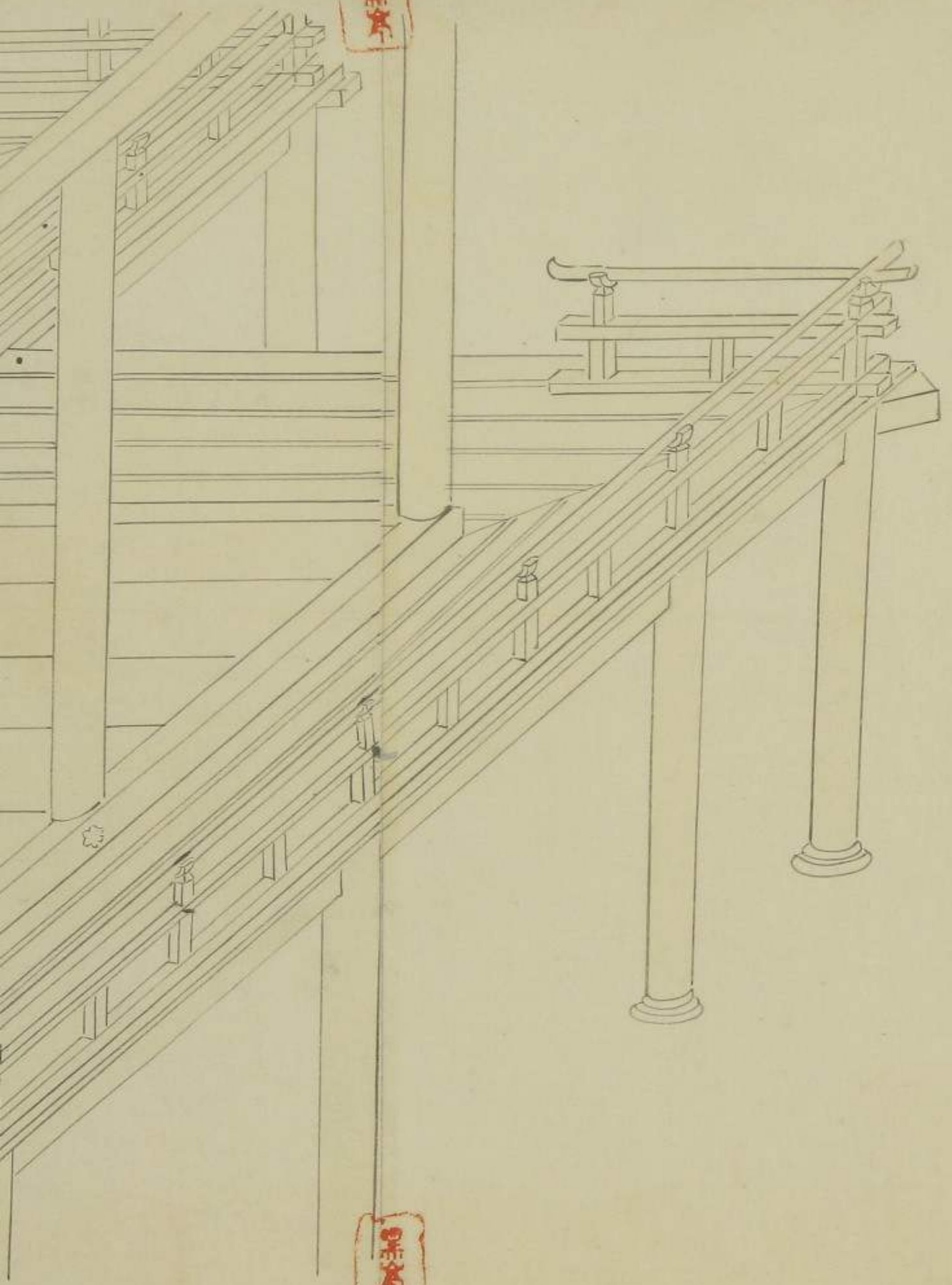
清三曲

清三曲

清三曲

清三曲





黒本

黒本

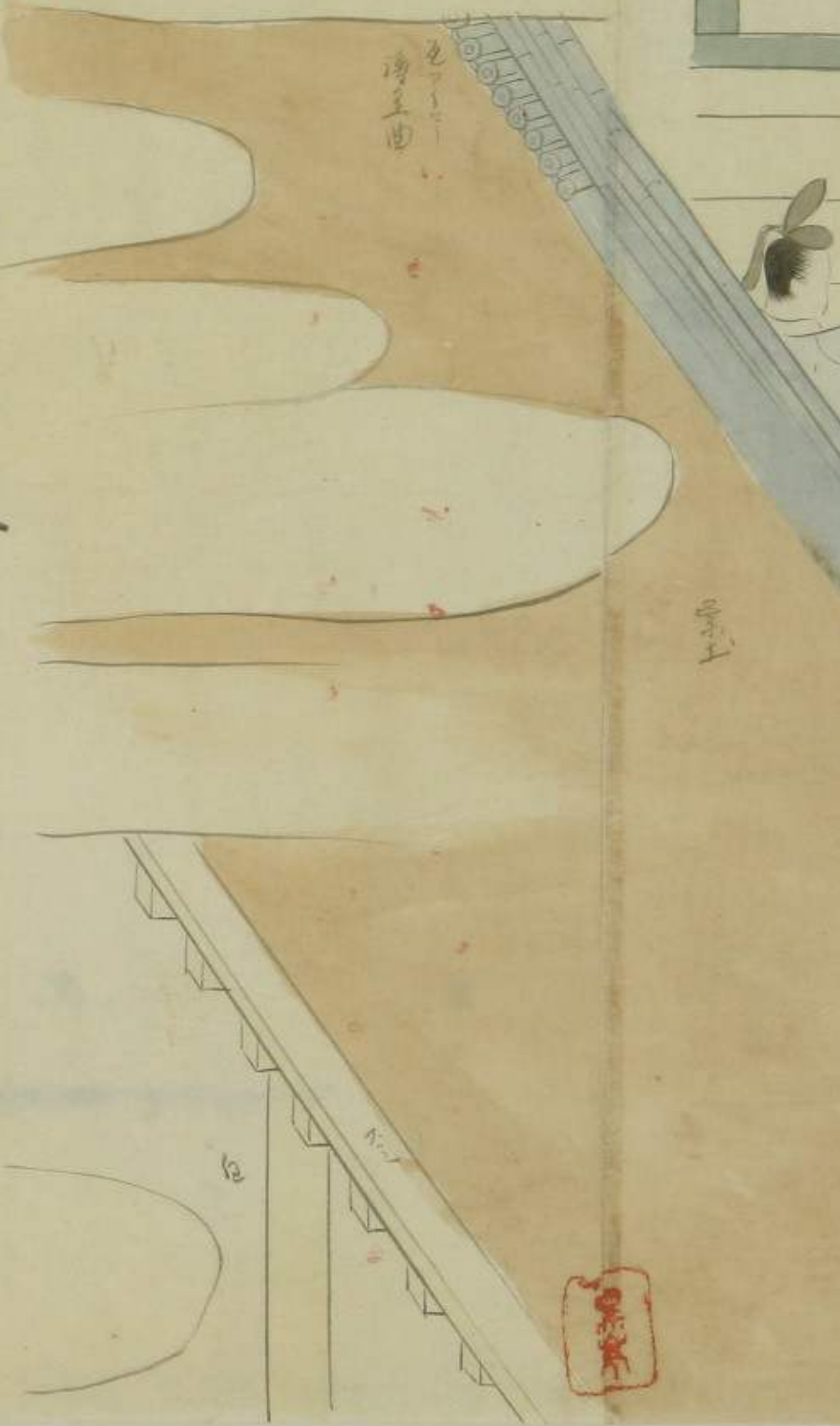
美人
シロト
ト音便

北法院殿

辰日けふも節會あり火ともし
 のちかん^{神主人}らめ殿主人東幸おしま
 いふ進方乃昔魚袋とほくまけり
 もあそく新始わしとるまはりうそ
 殿主人建いの病者うり
 みれまあそえむんまはまんとら
 取まそいもれもいりもそと
 以てりやそとよりあそいそまあ
 りそく新始わしわつつねは法
 法おお殿主人とめく昨日の
 新始わし

黒本

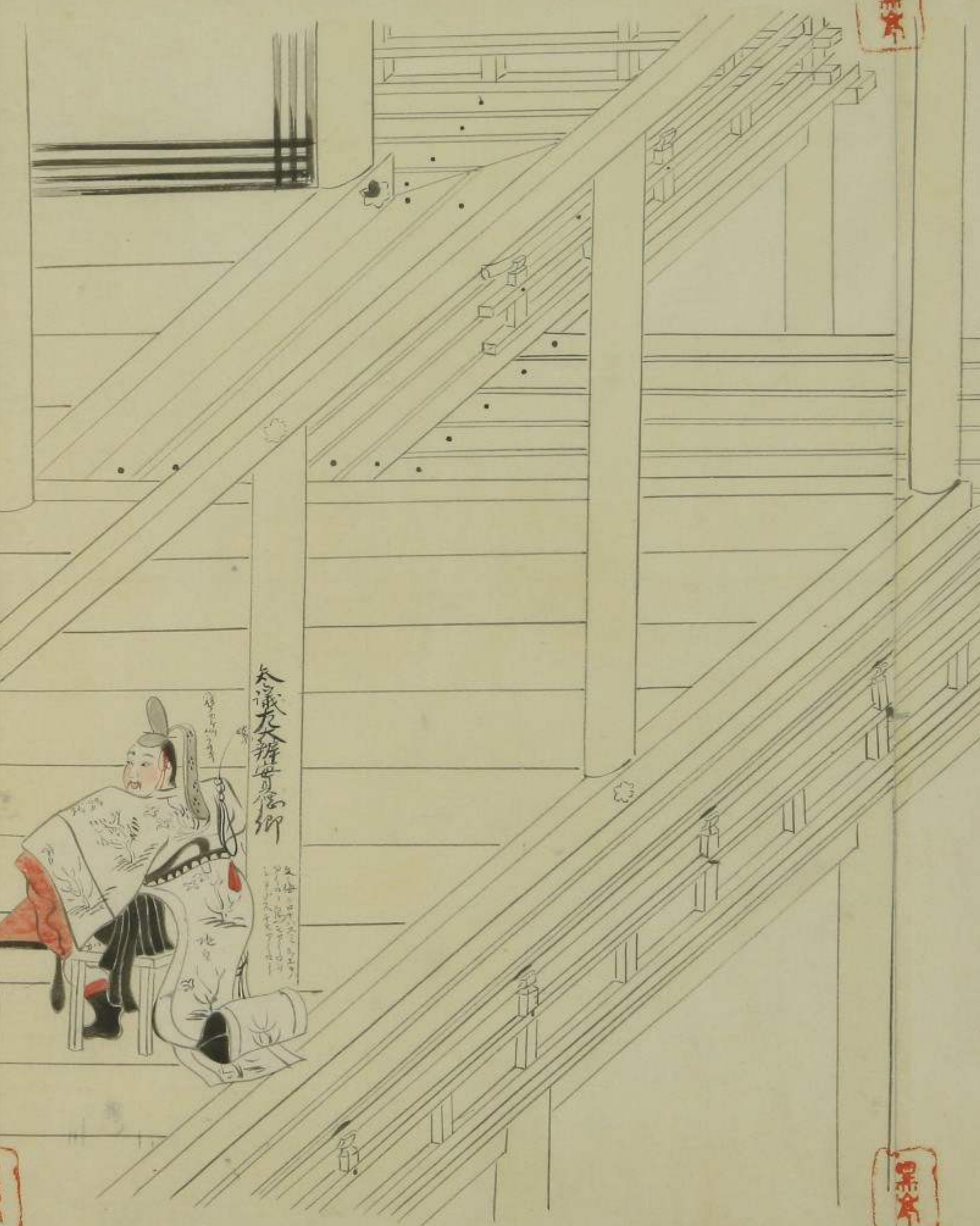
黒本



湯曲

黒本

黒本



黒本

黒本



大議友辨母信卿



中山
建綱言忠親卿



大議親定卿

大議中將實家卿



中納言氏親卿

中納言兼雅卿

中納言資時卿



大納言隆季卿

大納言實房卿

机
臣下八表
此白未十

横子

構子



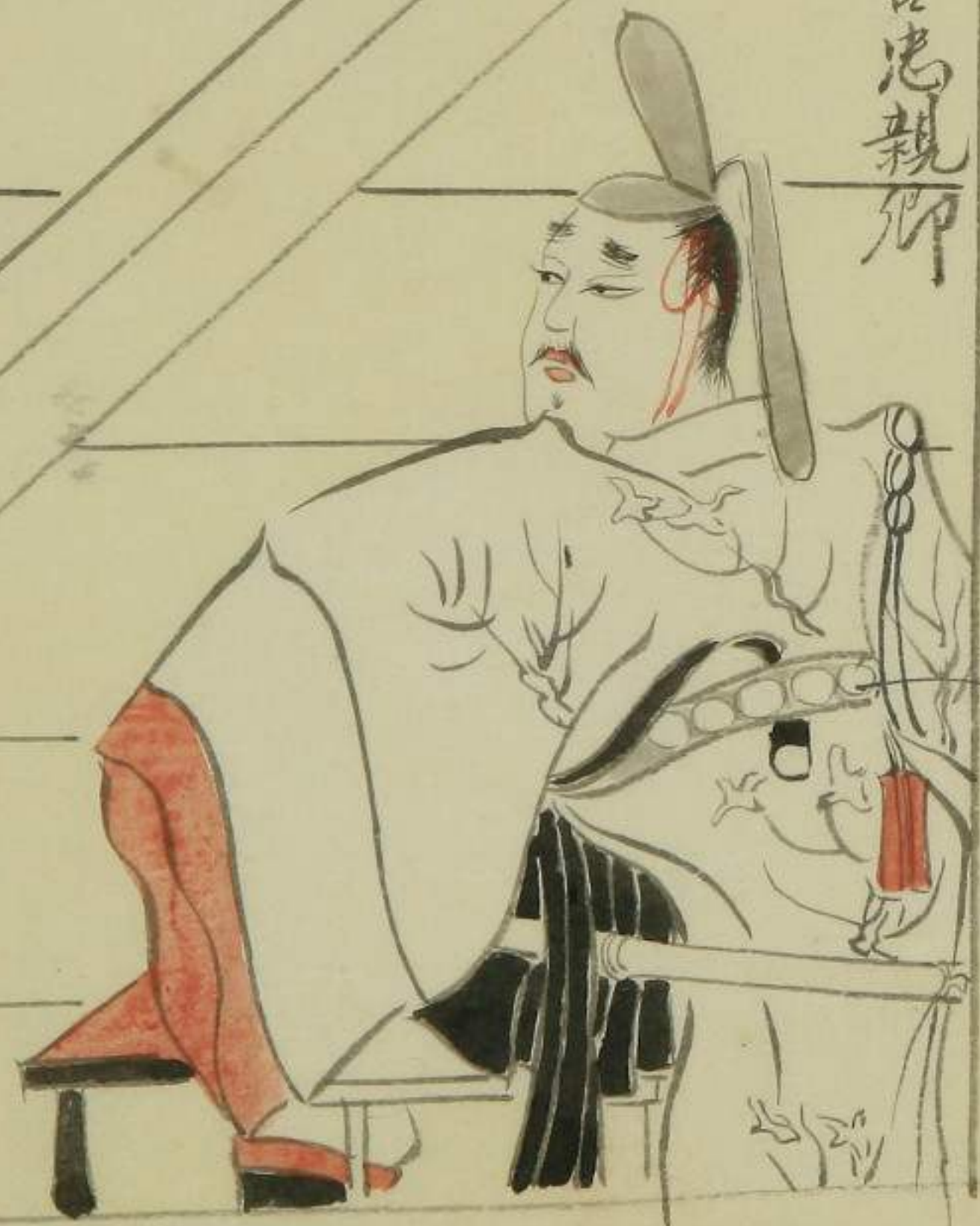
今春也文三

大将源長卿

黒本

卯金

三



中山
中納言忠親卿

台キカキタト月



冬議方大辨母息卿

冬梅ノ白ハクニシウエキ
アノロト白鳥ニクイロク
シタノ久キセアノロト



右五節淵醉園者日根野高榮所藏屏風之畫也因伊勢貞丈借之使長谷川重高寫之以為卷軸藏余文庫今按兼安元年辛卯六條院御宇時也至于安永五年丙申凡六百有六年干時安永五年丙申孟夏下較多賀中原常改識

右屏風一対也

他見伊勢

住吉内記

雲澤波黄マヨリヨ白由
又事几外金三ツト出包

將來又否不見令
大下地ト全ニ面ナリ
厚壁也

此稿不ハル也

左大將清長卿

大納言隆季卿

大納言實房卿

中納言氏親卿

先鋒中將實家卿

構子

榻子

机 臣下八表帛

主上ハ
此日未ナリ

中納言兼權卿

中納言實房卿

下奉色文三

